

早いもので、今年も残り1ヶ月となりました。日に日に寒さが増してきて、風邪でお休みする子どもが増えてきました。園でもこまめな手洗い・うがいを呼びかけ、風邪予防をしています。感染症も流行る時期ですので体調管理には十分気を付けましょう。

冬場に多い おう吐・下痢

この時期、気をつけたいのが「ウイルス性胃腸炎」。ノロウイルス、ロタウイルスなどに感染すると、おう吐と水のようなひどい下痢が起こります。高熱はあまり出ませんが、おう吐や下痢で体内の水分が失われ、脱水症状になると危険です。何よりもまず水分補給を心がけ、安静にして過ごしましょう。

おう吐・下痢のケア

子ども用イオン飲料や湯冷ましを少しずつ、こまめに与える

おしりはこすらずにお湯で洗い、タオルで軽く押さえて水分をふき取る

子どもが吐いたら……

ここを石確認!

- おなかを痛がったり、下痢をしていないか?
- 食べすぎや飲みすぎはなかったか?
- 吐く前に食べたものは何だったか?
- 吐く前に頭やおなかを打っていないか?
- 熱はないか?

吐いた後ぐったりしている、機嫌が悪いなど、様子によっては急いで受診しましょう!

何度も吐き続けるときは……

- 食べ物や飲み物を与えず、安静にする
- 吐いたものが気管に入らないように、上体を起こすが、顔を横に向けて寝かせる

吐き気が治まったら……

- さゆや麦茶、野菜スープなどを、ひと口ずつゆっくり飲ませる

低温やけどに注意

ホットカーペットや使い捨てカイロに長時間ふれることで起こる「低温やけど」が増えています。痛みを感じにくく、重症化しやすいのが特徴。肌が赤くなり子どもが痛がゆく感じていたら要注意。

応急処置



痛みが和らぐまで流水で冷やす。最低20分くらいは冷やし続け、その後病院へ。

広範囲のやけどは、冷水でぬらしたシーツなどで全身を覆い、シャワーをかける。その後病院へ。

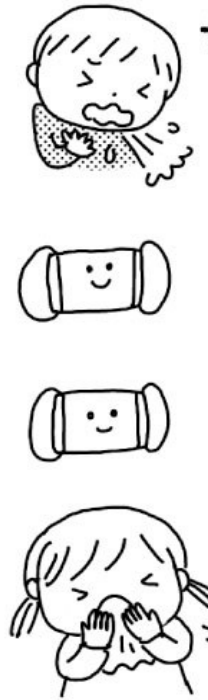
● 園内で感染が疑われる嘔吐や下痢などで衣服が汚れた場合、感染拡大を防ぐ為、水洗いを行わず袋に入れて持ち帰っていただく事になっています。ご了承ください。



● 登園前や帰宅後に発熱があった場合、インフルエンザや他の感染症が疑われるので、感染拡大防止の為、受診をお勧めします。また、インフルエンザ等の感染症と診断された場合は必ず幼保園に連絡して下さい。新型コロナウイルス感染予防対策も引き続きよろしくお願いたします。



せきエチケットについて



せきエチケットは、ウイルスを人に移さないという意識が大切です。せきによるウイルスの飛沫は2~3mといわれています。せきが出る場合は人混みを出歩かないようにしたいものですが、やむを得ず外出するときはマスクをしてウイルスの拡散を防ぎましょう。マスクをしていないときはティッシュやハンカチで口と鼻を覆います。使ったマスクやティッシュは蓋のあるゴミ箱に捨て、手もせっけんでよく洗いましょう。

